社会人向け大学院 都市経営研究科入試説明会・連続公開シンポジウム案内（19 年向け夏季）

GSUM Graduate School of Urban Management

大阪市立大学大学院 都市経営研究科

会場は7月1日以外大阪駅前第2ビル6F大阪市立大学梅田サテライト、7月1日は杉本キャンパス。いずれも参加費無料・事前申し込み不要

6/15 金 梅田 101 18:30 ～ 21:00

都市行政コースシンポジウム「**地域共生社会の実現に向けて ー社会福祉協議会の役割を中心にー**」

西嶋善親氏（大阪市社会福祉協議会常務理事、元大阪市福祉局長）【コーディネータ】五石敬路（都市経営研究科准教授）

6/16 土 梅田 15:30 ～ 17:30

第1回入試説明会

6/23 土 梅田 15:30 ～ 17:30

都市政策・地域経済コースシンポジウム「**公立図書館と地域社会の絆**」

河原哲也氏（宮津市立図書館教育委員会事務局社会教育課課長）、綾野昌幸氏（伊丹市立図書館館長）、坂下雅氏（和歌山市民図書館館長）【コーディネータ】遠藤尚秀（都市経営研究科教授）

6/27 水 梅田 18:30 ～ 21:00

第2回入試説明会

7/ 1 日 杉本 14:00 ～ 17:00

医療・福祉イノベーション経営コース **入試説明会**

●会場は、大阪市立大学杉本キャンパス学術情報総合センター1階文化交流室

※当日参加不可の方は、kawamurat@osaka-cu.ac.jp までご連絡ください。

7/ 9 月 梅田 18:30 ～ 21:00

都市行政コースシンポジウム「**自治体環境行政法の最前線**」

北村喜宣氏（上智大学法学部教授）【コーディネータ】久末弥生（都市経営研究科教授）

7/12 木 梅田 18:30 ～ 21:00

都市ビジネスコースシンポジウム「**イノベーション都市：大阪の新しい挑戦～次々と誕生するイノベーション拠点と今後の展望**」

【第一部】【基調講演】吉川正晃氏（（株）Human Hub Japan 代表、元：大阪市経済戦略局理事）【第二部】大阪市よりイノベーション拠点立地促進助成制度の簡単な説明。各拠点（合計9か所）からの拠点紹介【コーディネータ】小関珠音（都市経営研究科准教授）

7/13 金 梅田 101 18:30 ～ 21:00

都市行政コースシンポジウム「**政策評価の現状と課題**」

大槻大輔氏（総務省行政評価局政策評価課長）【コーディネータ】髙野恵亮（都市経営研究科教授）

7/14 土 梅田 15:30 ～ 17:30

第3回入試説明会

7/23 月 梅田 18:30 ～ 21:00

都市政策・地域経済コースシンポジウム「**都市・地域で問われる現代アートのカー金沢｜石巻・牡鹿半島｜大阪**」

島敦彦氏（金沢 21 世紀美術館館長）、和多利浩一氏（ワタリウム美術館 CEO、キュレイター）、雨森信氏（Breaker Project ディレクター／大阪市立大学都市研究プラザ特別研究員）【モデレーター】吉田隆之（都市経営研究科准教授）

7/27 金 梅田 18:30 ～ 21:00

都市ビジネスコースシンポジウム「**デジタルコンテンツを活用した都市ビジネスづくり**」

山本純氏（デジタルコンテンツ協会事務局長）、中村忠司氏（大阪観光大学教授）、上根学氏（（株）ジュエリーカミネ社長）【コーディネータ】近勝彦（都市経営研究科教授）

お問い合わせ 〒558-8585 大阪市住吉区杉本 3-3-138 大阪市立大学 都市経営研究科 事務室
06-6605-3508 詳細は **http://www.gsum.osaka-cu.ac.jp/**

GSUMI 大阪市立大学大学院 都市経営研究科

いずれも参加自由、無料、
会場は大阪駅前第2ビル6F、
大阪市立大学梅田サテライト

6/15 金
梅田 101 18:30 ～ 21:00

都市行政コースシンポ「地域共生社会の実現に向けて－社会福祉協議会の役割を中心に－」

【趣旨】迫りくる超少子・高齢時代において、高齢や障がいなどにかかわらず全ての住民が共に支え合い地域で生活していくため、今後、地域住民を主体にどう対応していくべきか。8050 問題やダブルケア、子どもの貧困など生活課題への対応は待ったなしです。今、地域福祉を推進する社会福祉協議会に期待が集まっています。元大阪市福祉局長、元西成区長として、大阪の福祉を最前線でみつめ、携わってきた西嶋氏が熱く語ります。【報告内容】8050 問題やダブルケア、貧困などの生活課題への対応として「地域共生社会の実現」が、打ち出されているが、「地域福祉」に重点をおく施策への転換は、介護保険制度が創設される 2000 年頃には既に始まっており、「地域福祉を推進する団体」に位置づけられた社会福祉協議会が、この間、果たしてきた役割を中心に報告する。

◀【講師】西嶋善親氏（大阪市社会福祉協議会常務理事、元大阪市福祉局長）1979 年に大阪市役所に奉職し、あいりん地域での業務をはじめに、37 年間、主に福祉エリアの業務に従事。西成区長、福祉局長を経て 2016 年 3 月末に定年退職し、その 6 月から大阪市社会福祉協議会常務理事に就任、現在に至る。

【コーディネータ】▶五石敬路（都市経営研究科准教授）東京大学経済学研究科博士課程単位取得退学。共著『生活困窮者支援で社会を変える』（法律文化社 2017）。

6/23 土
梅田 15:30 ～ 17:30

都市政策・地域経済コースシンポ「公立図書館と地域社会の絆－宮津／伊丹／和歌山」

【趣旨】「地域における知の拠点」であるとともに、地域文化の継承、地域住民等の出会いの場の提供を通じて地域社会のニーズを汲み取り、地域価値創造に邁進されている公立図書館（3自治体）の関係者を講師としてお招きしました。「市町村立図書館は、知識基盤社会における知識・情報の重要性を踏まえ、資料や情報の提供等の利用者及び住民に対する直接的なサービスの実施や、読書活動の振興を担う機関として、また、地域の情報拠点として、利用者及び住民の要望や社会の要請に応え、地域の実情に即した運営に努めるものとする」（「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」（第一総則三運営の基本 2））とされています。公立図書館の運営には、自治体の直営のみならず指定管理者制度の活用もありますが、下記の疑問について 3 自治体の具体的な取組みのご紹介を講師の皆さまからお話しいただき、会場の皆さまと意見交換を行って参ります。市としてどのような視点から、地域社会を巻き込んで公立図書館を運営されているのか？公立図書館サービスを通じて、地域社会を具体的にどのように変えようとしているのか？いっしょに考えましょう。

【パネリスト】河原哲也氏（宮津市立図書館教育委員会事務局社会教育課課長）1989 年宮津市役所入庁。総務部総務課・議会事務局・健康福祉室を歴任。2016 年教育委員会事務局社会教育課長。市立図書館のショッピングセンターへの移転整備。

【パネリスト】綾野昌幸氏（伊丹市立図書館館長）関西学院大学法学部卒。伊丹市教育委員会生涯学習部参事兼 図書館長。伊丹市立図書館は先進的な図書館に与えられる“Library of the year2016 大賞”受賞。

【パネリスト】坂下雅氏（和歌山市民図書館館長）1989 年和歌山市役所入庁。和歌山市役所入庁後 30 年間の内、通算で 20 年間、障害者支援を担当。2017 年 4 月に市民図書館長に着任。2019 年秋に駅直結のビル内に新図書館オープン。

【コーディネータ】▶遠藤尚秀（都市経営研究科教授）関西学院大学大学院経営戦略研究科博士課程後期課程修了。博士（先端マネジメント）、公認会計士、英国勅許公共財務会計士。会計専門職大学院・自治大学校・福知山公立大学地域経営学部等で公会計論・内部統制論・管理会計関連科目について教鞭をとりつつ、国家／地方公務員・地方議員向け研修、包括外部監査等に携わる。グッド・ガバナンスを参考にしつつ、公会計をベースに地域経営論を研究。

7/ 9 月
梅田 18:30 ～ 21:00

都市行政コースシンポ「自治体環境行政法の最前線」

【趣旨】良好な生活環境のなかで豊かに暮らせるように、住民は、自治体職員に行政運営を託しています。自治の深化が求められる現在、自治体職員は、自治力を高めて課題に取り組まなければなりません。どのように発想し、どのように議論すべきか。その一端を一緒に考えてみましょう。

◀《講演者》北村喜宣（上智大学法学部教授）1960 年京都市生まれ。神戸大学法学部卒業。横浜国立大学経済学部助教授などを経て、現在、上智大学法学部教授。専攻は行政法学、環境法学。近著として、『空き家問題解決のための政策法務』（第一法規）、『リーガルマインドが身につく自治体行政法入門』（ぎょうせい）、『環境法』（有斐閣）、『自治力の挑戦』（公職研）など。

《司会》久末弥生（都市経営研究科教授）北海道大学大学院法学研究科博士後期課程修了・博士（法学）、フランス国立リモージュ大学大学院法学研究科正規留学、アメリカ合衆国テネシー州ノックスビル市名誉市民。主な単著に『考古学のための法律』（日本評論社）、『都市計画法の探検』（法律文化社、第 25 回国際公共経済学会学会賞受賞）、『現代型訴訟の諸相』（成文堂）など。▶